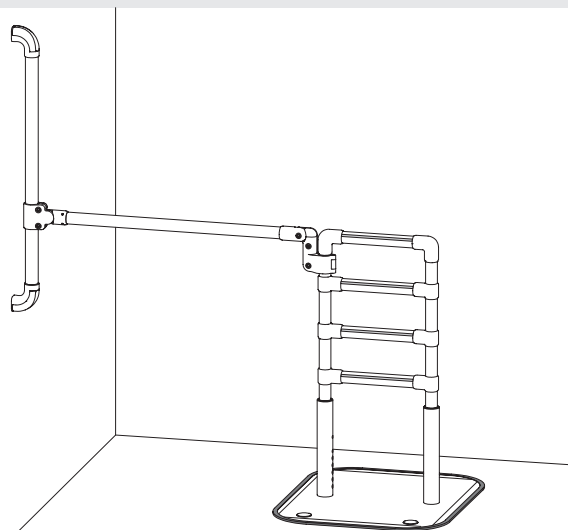
BAUHAUS

たよレール

取扱説明書
取付け要領書

わたレール６００Ｊ・９００Ｊ・１２００Ｊ

品番　ＢＺＷ－６００Ｊ・ＢＺＷ－９００Ｊ・ＢＺＷ－１２００Ｊ

【納入業者様へ】
取付けは、納入業者様が行ってください。
P9『⑨保証規定』に納入業者様名、ご購入日を記入する箇所がありますので、必ず記入ください。
取付け後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

① 各部の名称

ＢＺＷ－６００Ｊ・ＢＺＷ－９００Ｊ（手すり棒切断不可）

ＢＺＷ－１２００Ｊ（手すり棒切断可）

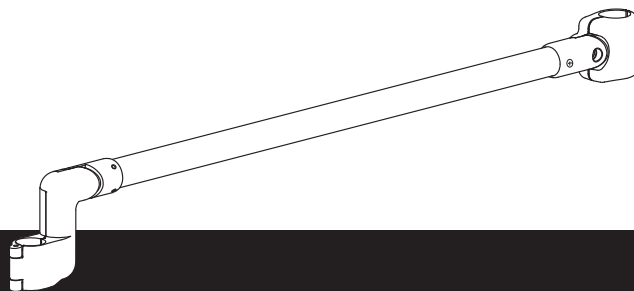
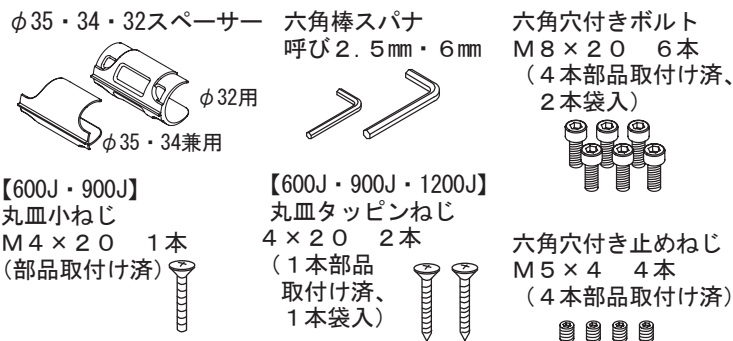
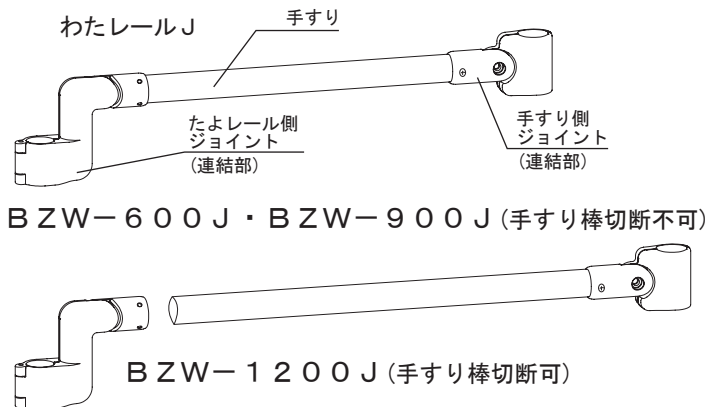
φ35・34・32スペーサー

六角棒スパナ
呼び２．５㎜・６㎜

六角穴付きボルト
Ｍ８×２０　６本
（４本部品取付け済、２本袋入）

【600J・900J】
丸皿小ねじ
Ｍ４×２０　１本
（部品取付け済）

【600J・900J・1200J】
丸皿タッピンねじ
４×２０　２本
（１本部品取付け済、１本袋入）

六角穴付き止めねじ
Ｍ５×４　４本
（４本部品取付け済）

この度は「BAUHAUS たよレール用わたレールJ」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
この商品は「BAUHAUS たよレール」と「BAUHAUS 手すり」専用の連結手すりです。
ご使用前にはこの説明書をよく読んで、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

⚠ 拡大損害が予想される事項

🚫 禁止行為　分解禁止

❗ 必ず行う

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

■もくじ■

T-130906【04】

② 安全上のご注意

●取付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けしてください。

警告（けいこく）　重大な事故の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●たよレール及びたよレール用オプションは、絶対に指定製品以外や、他社製品と組み合わせて使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●ねじなど必要な部品を省かない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●わたレール６００Ｊ・９００Ｊの手すり棒は切断しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●片側にたよレール・片側にBAUHAUS手すり棒を取付けた状態で使用する。ただしBAUHAUS遮断機式手すりブラケットシリーズ(脱着手すりブラケットを含む)では使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●説明書記載事項以外の分解、加工、改造は絶対にしない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●設置(取付け)後に、ガタツキ、ねじの緩み、締め忘れがないことを確認する。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●使用される方の動線を十分に検討して設置する。	重大な事故の原因となる。
	●手すりの高さや位置を使用される方の身体状態に合わせて設置する。	重大な事故の原因となる。

注意（ちゅうい）　ケガや器具損傷の原因となる。

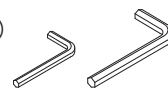
絵表示	重要事項	危害・損害
	●浴室・脱衣所・洗面所などで水に濡れる場所には、設置しない。	変質や器具損傷の原因となる。
	●直射日光のあたる場所では使用しない。	金属部分が熱くなり、やけどの原因となる。 また、変色や器具損傷の原因となる。
	●火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前、床暖房の上で使用しない。	変形変色、器具損傷の原因となる。
	●移動させる場合は、わたレールＪのボルトを緩め(仮固定程度)、たよレールのベースプレート部を持って移動させる。また他の人がわたレールＪとたよレールまたは、既設手すりとの連結部に触れていないことを必ず確認する。	器具損傷や連結部に指を挟むなど、重大な事故の原因となる。

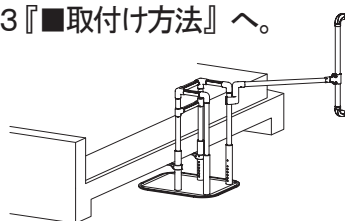
③ 取付け方法

●取付けは納入業者の方が必ず行ってください。

■取付け前の準備

1．付属されている六角棒スパナを準備する。(呼び２．５㎜、６㎜　わたレールＪ付属品)

2．使用可能部材の確認。

①たよレール(ＢＺ−Ｎ０１・ＢＺ−Ｎ０２・ＢＺ−Ｎ０３)をベッドサイドで連結する場合

※ベッドサイド以外でご使用される場合は
Ｐ３『■取付け方法』へ。

ＢＺ−Ｎ０１	ＢＺ−Ｎ０２	ＢＺ−Ｎ０３
使用可	使用可	使用可

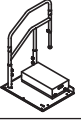
●ベッド側の本体にはオプション品の『セーフティアーム』を取付けてベッドフレームと密着させるか『セーフティウエイト』を取付けて設置する。

③ 取付け方法

②たよレール high（ＢＺＨ－０１・ＢＺＨ－０２・
　ＢＺＨ-１０１-Ａ）を連結する場合

ＢＺＨ－０１	ＢＺＨ－０２	ＢＺＨ－１０１－Ａ
（屋内用）	（屋内用）	（屋外用）
使用可	使用可	使用可

③連結する手すり棒の確認

手すり側ジョイントと連結する手すり棒は必ず『 BAUHAUS32・35 木製手すり棒 』『 BAUHAUS 裸用脱着手すり棒 』『 BAUHAUS 34 フリーＲレール手すり棒』又は、『 BAUHAUS32 アルミ樹脂巻手すり棒 』としてください。
ただし、『 BAUHAUS 遮断機式手すりブラケットシリーズ（脱着手すりブラケットを含む）』又は、手すり棒を脱着するなど手すりが固定されていない場合は連結することができません。

●指定のBAUHAUS 手すり棒以外と連結しない。
●BAUHAUS 遮断機式手すりブラケットシリーズ（脱着手すりブラケットを含む）には連結しない。

④たよレールdan（ＢＺＤ-０１～０８）と連結する場合

たよレール dan と連結する場合は必ず手すり側ジョイントとたよレール dan を連結してください。
連結は下図の範囲内で行ってください。

ＢＺＤ－０１	ＢＺＤ－０２	ＢＺＤ－０３	ＢＺＤ－０４
使用可	使用可	使用可	使用可

ＢＺＤ－０５	ＢＺＤ－０６	ＢＺＤ－０７	ＢＺＤ－０８
使用可	使用可	使用可	使用可

■取付け方法

1．オプション品『 セーフティアーム 』・『 セーフティウエイト 』の取付け。
※取付け方法は、『 セーフティアーム 』・『 セーフティウエイト 』の取扱説明書をご覧ください。

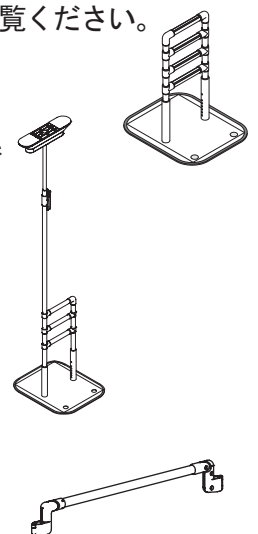
①たよレール（ＢＺ－Ｎ０１・ＢＺ－Ｎ０２・ＢＺ－Ｎ０３）の場合

ベッドサイドで使用する場合はたよレールに『セーフティアーム』を取付ける。
ベッドサイドに『セーフティアーム』が取付けられない場合やベッドサイド以外で使用する場合は、たよレールに『セーフティウエイト』を取付ける。

②たよレール high（ＢＺＨ－０１・ＢＺＨ－０２）の場合

たよレール high が固定されている為、『セーフティアーム』または、『セーフティウエイト』を取付ける必要はありません。

③わたレールＮと併用してたよレール、たよレールhighを連結する場合

わたレールＮを併用する場合は『わたレールＮ』の取扱説明書をご覧ください。
『セーフティアーム』・『セーフティウエイト』の取付け台数は『わたレールＮ』の取扱説明書をご覧ください。

●『セーフティアーム』、もしくは『セーフティウエイト』をたよレールの台数に合わせて、必ず必要な数だけ取付ける。

③ 取付け方法

２．わたレール６００Ｊ・９００Ｊの取付け方法→Ｐ５「７．」へ。
わたレール１２００Ｊをそのまま使用し、既設手すりが縦手すり、横手すりの場合→Ｐ４「６.」へ。
わたレール１２００Ｊをそのまま使用し、既設手すりが縦手すり、横手すり以外の場合→P5「7.」へ。
手すりの長さ調整を必要とする場合はわたレール１２００Ｊを使用→Ｐ４「３．」へ。

３．わたレール１２００Ｊの手すり棒を切断する。

①手すり棒の必要な長さを決め、手すりにけがく。
※施工に際しては必ず現場を実測する。
②手すり棒を金ノコで切断する。

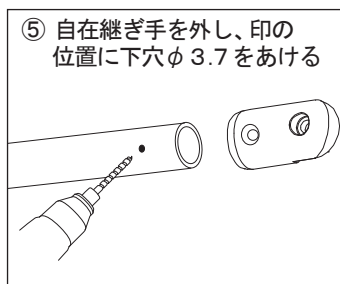
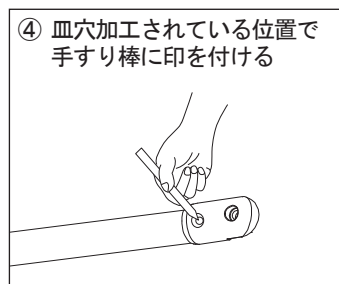
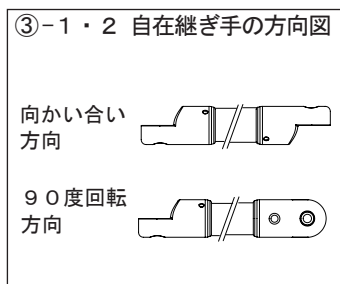
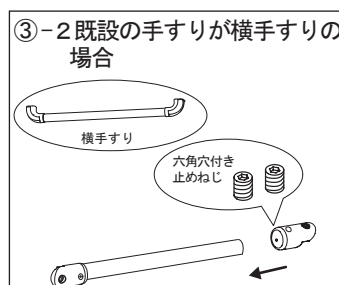
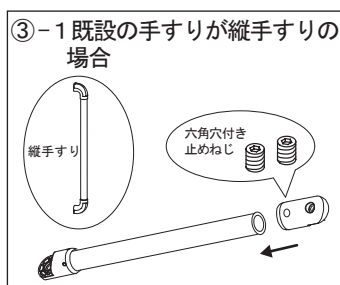
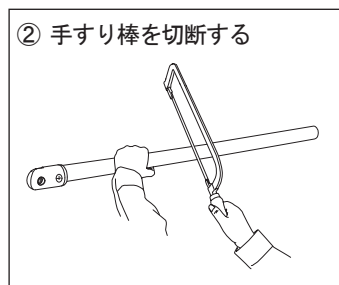
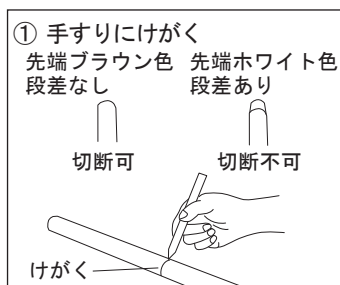
●必ず切断可能方向（先端ブラウン色段差なし）の木口を切断する。

●わたレール６００Ｊ・９００Ｊの手すり棒は切断しない。

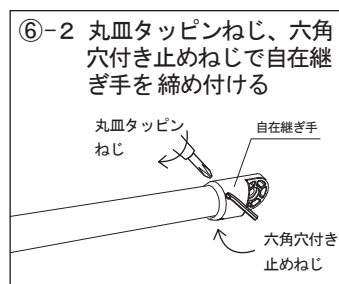
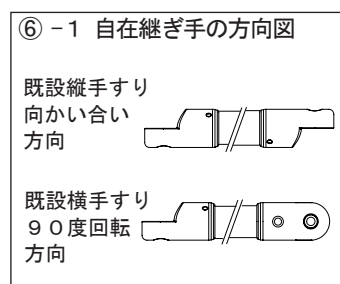
４．既設手すりが縦手すり、横手すり以外の場合
→Ｐ４「６．」へ。

５．切断した手すり棒に印を付け、下穴φ３．７をあける。

③-１既設の手すりが縦手すりの場合
自在継ぎ手に仮止めされている六角穴付き止めねじを外し、手すり棒に固定されている自在継ぎ手と向かい合う様に自在継ぎ手を挿し込む。
③-２既設手すりが横手すりの場合
自在継ぎ手に仮止めされている六角穴付き止めねじを外し、手すり棒に固定されている自在継ぎ手から９０度回転させて自在継ぎ手を挿し込む。

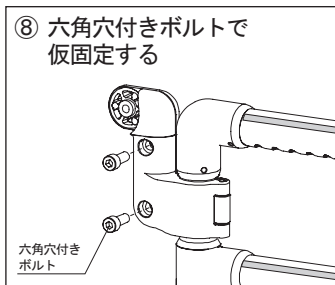
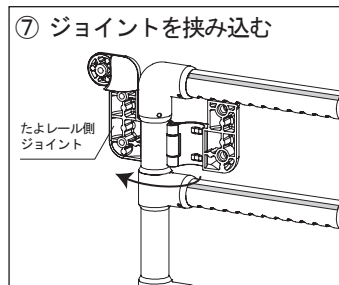
④自在継ぎ手の皿穴加工されている位置で手すり棒に印を付ける。
⑤自在継ぎ手を外し、印の位置に下穴φ３．７をあける。

６．そのままの長さ又は切断した手すりに自在継ぎ手をプラスドライバー、六角棒スパナ（呼び２．５mm）で手締めでしっかりと締め付け、固定する。
※締め付けトルク：プラスドライバー ２N・m
六角棒スパナ ２．５N・m

⑥-１既設手すりが縦手すりの場合、自在継ぎ手が向かい合うように差し込む。
既設手すりが横手すりの場合、自在継ぎ手が９０度回転するように差し込む。

⑥-２プラスドライバーで自在継ぎ手の丸皿タッピンねじをしっかりと締め付け、固定する。六角棒スパナ（呼び２．５mm）で自在継ぎ手の六角穴付き止めねじをしっかりと締め付け、固定する。

●たよレールは傾斜のある場所や布団の上など、不安定になる場所では設置しない。

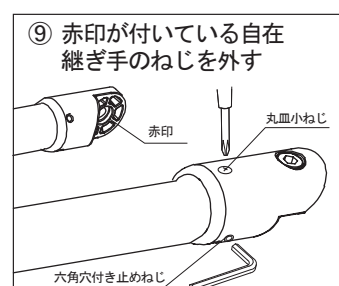
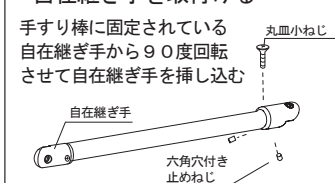
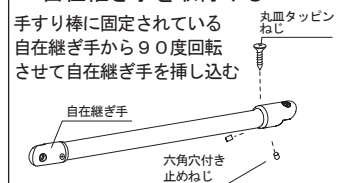
③ 取付け方法

7．たよレール側ジョイントを仮固定する。

⑦･⑧たよレール側ジョイントをたよレール（たよレール high）に挟み込み､六角穴付きボルトで仮固定する。

8．既設手すりが縦手すりの場合→Ｐ６「１１.」へ。
既設手すりが横手すりで６００Ｊ・９００Ｊの場合→「９.」へ。
既設手すりが横手すりで１２００Ｊの場合→「１１．」へ。
既設手すりが縦手すり、横手すり以外の場合→「１０.」へ。

9．既設手すりが横手すりの場合、赤印が付いている自在継ぎ手を外し、９０度回転させ固定する。
プラスドライバー､六角棒スパナ(呼び２.５mm）で手締めでしっかりと締め付け、固定する。
※締め付けトルク：プラスドライバー ２Ｎ･ｍ / 六角棒スパナ ２.５Ｎ･ｍ

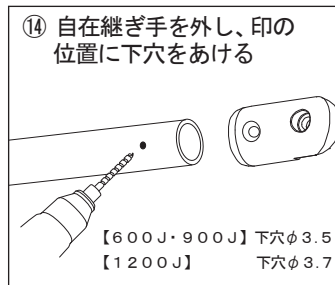
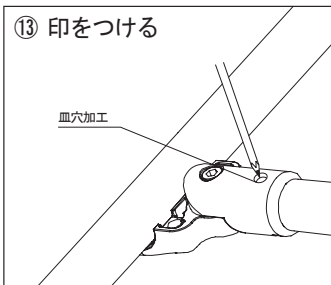
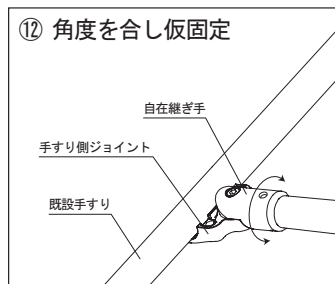
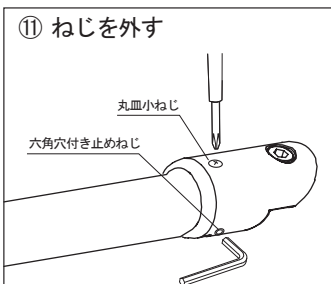
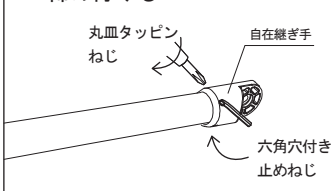
⑨六角棒スパナ（呼び２.５mm）で自在継ぎ手の六角穴付き止めねじ、プラスドライバーで自在継ぎ手の丸皿小ねじ（６００Ｊ・９００Ｊ）、丸皿タッピンねじ（１２００Ｊ）を外し、自在継ぎ手を外す。

⑩自在継ぎ手を９０度回転（Ｐ４図③-１・２参照）させ、自在継ぎ手のねじ穴と手すり棒の下穴（下穴加工済）を合わせ､プラスドライバーで自在継ぎ手の丸皿小ねじをしっかりと締め付け、固定する。六角棒スパナ（呼び２.５mm）で自在継ぎ手の六角穴付き止めねじをしっかりと締め付け、 固定する。

１０．既設手すりが縦手すり・横手すり以外の場合、自在継ぎ手の固定ねじを外し、既設手すりに合わせた位置で手すり側ジョイントと自在継ぎ手を仮固定し、手すり棒を自在継ぎ手に仮挿入する。手すり棒に印を付けた後、下穴をあけ､自在継ぎ手をプラスドライバー､六角棒スパナ(呼び2.5mm）で手締めでしっかりと締め付け、固定する。
※締め付けトルク：プラスドライバー ２Ｎ･ｍ
六角棒スパナ ２.５Ｎ･ｍ

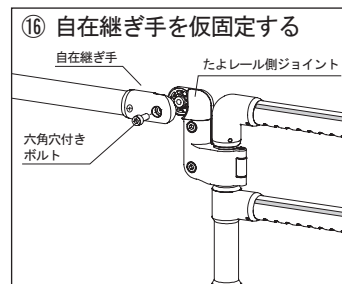
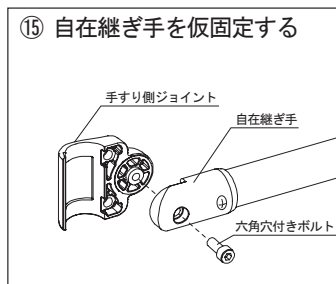
⑪自在継ぎ手に固定されている六角穴付き止めねじと丸皿小ねじを外す。

⑫手すり側ジョイントと自在継ぎ手の角度を既設の手すりに合わせて仮固定し、既設の手すりに手すり側ジョイントをはめ合わせる。

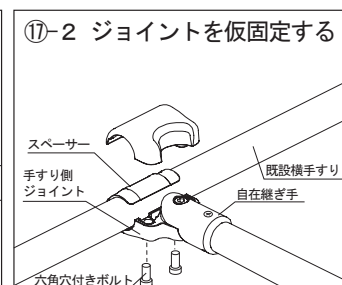
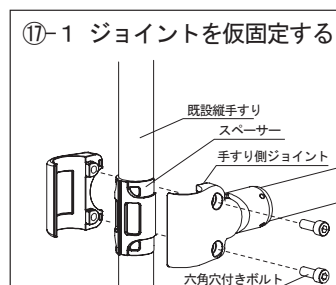
⑬自在継ぎ手に手すり棒を挿入し、自在継ぎ手の皿穴加工している位置で手すり棒に印を付ける。

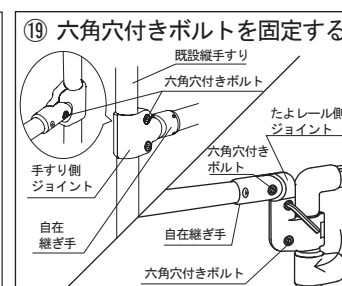
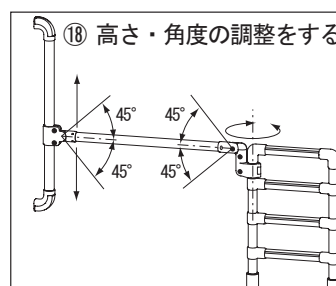
⑭６００Ｊ・９００Ｊの場合、印を付けた位置に下穴φ３.５をあける。１２００Ｊの場合は下穴φ３.７をあける。

⑮プラスドライバーで自在継ぎ手の丸皿タッピンねじをしっかりと締め付け、固定する。六角棒スパナ（呼び２.５mm）で自在継ぎ手の六角穴付き止めねじをしっかりと締め付け、固定する。

③ 取付け方法

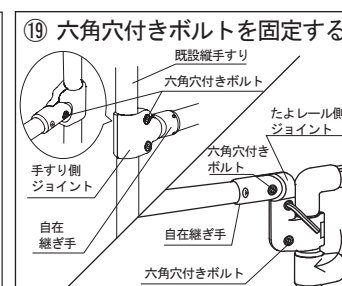
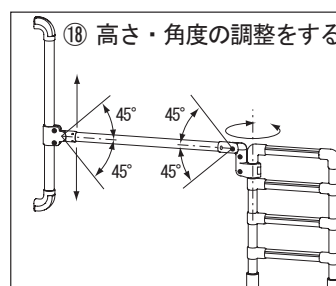
１１．自在継ぎ手を仮固定する。

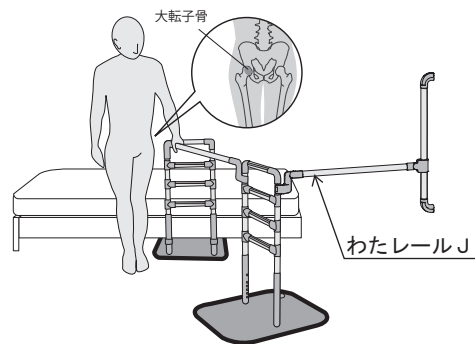
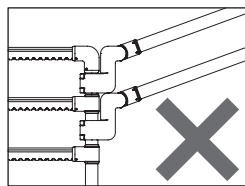
⑮・⑯自在継ぎ手をたよレール側ジョイントと手すり側ジョイントへ六角穴付ボルトで仮固定する。

１２．手すり側ジョイントを仮固定する。

⑰−１ 取付ける既設手すりの太さに応じて付属のφ35・34兼用スペーサー又はφ32のスペーサーを既設手すりに取付け、六角穴付きボルトで手すり側ジョイントを仮固定する。

⑰−２ 既設手すりが水平に付いている場合は水平方向に手すり側ジョイントを取付け、六角穴付きボルトで仮固定する。

１３．仮固定したわたレールＪの高さ・角度の調整をする。

⑱対応傾斜角度は４５°までとする。たよレールのプレートがしっかりと立つ様、位置を調節する。

１４．仮固定している六角穴付きボルトを六角棒スパナ（呼び６mm）でしっかりと締め付け、固定する。

⑲六角棒スパナ（呼び６mm）でたよレール側ジョイント、手すり側ジョイント、自在継ぎ手の六角穴付きボルトをしっかりと締め付け、固定する。

④ 設置方法

●歩行補助の基準で手すりの高さを決める。
●歩行補助の場合、手すりの高さは使用する人の大転子骨あたりが良いとされています。
●わたレールＪを２セット使用し、２段手すりとして使用はできません。

●わたレールＪを２段手すりとして２セットで使用しない。

●高さ調整後は手すり固定ねじ等に緩みがないか確認する。

●手すりの高さ、位置に関しては、あくまでも目安です。必ず使用される方の最適な位置を確認して設置する。

⑤ 使用上のご注意

●使用前にこの「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

警告（けいこく）　重大な事故の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●海外で使用しない。※本製品は日本国内専用です。	
	●たよレール及びたよレールのオプション品は、本来の使用目的以外では使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●動作補助具以外の用途で使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●足場にしたり、はしごや椅子として使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●子どもの遊具として使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●車椅子からの立ち上がりに使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●水平方向に力をかけない。	ベースプレートが持ち上がり、転倒の原因となる。
	●手すりを垂直方向（上に）引っ張らない。	万が一たよレールの手すりが抜けた場合、重大な事故の原因となる。
	●手すりの間に頭や手足を入れない。	窒息や骨折の恐れがある。
	●手、足、靴底が濡れている状態で使用しない。	滑りやすく、転倒の原因となる。
	●製品が濡れている状態で使用しない。	滑りやすく、転倒の原因となる。また、布団や畳にカビが発生する原因となる。
	●２人以上で同時に使用しない。	重大な事故や器具損傷の原因となる。
	●電動ベッドで使用の際は、たよレールに身体（手足等）が触れた状態で電動ベッドを作動させない。	重大な事故の原因となる。
	●予測できない行動をする可能性がある方や自力で危険な状態から回避できない方には使用しない。	重大な事故の原因となる。
	●設置後の安定性、使用される方の状況確認の上、使用する。	重大な事故の原因となる。
	●使用に際しては、使用される方の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分に配慮をする。	重大な事故の原因となる。

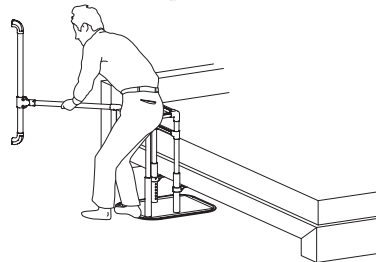
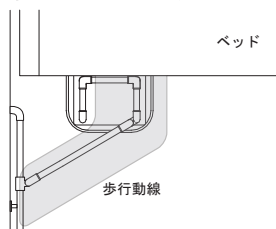
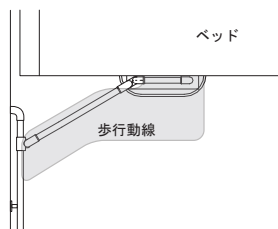
⑤ 使用上のご注意

注意（ちゅうい）　ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
禁止	●火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前、床暖房の上で使用しない。	金属部分が熱くなり、やけどの原因となる。 また、変形や変色、器具損傷の原因となる。
指示	●介護者が使用される方の状態(安全に使用できる状態にあるか)を確認する。 ※使用される方の健康状態や体調が変化した場合は、医師や介護福祉士などの専門員に相談してください。 ※ご使用の際は、介護者が付き添って使用されることをお勧めします。 ※状態に合わない場合は、直ちにご使用をおやめください。	事故の原因となる。
指示	●介護者などの付き添いが必要な場合は、十分注意する。	事故の原因となる。
指示	●結露した場合は、乾いた布などで拭きとる。	結露した状態で手すりを握ると滑って事故の原因となる。

⑥ 使用方法

【ベッドサイドでご使用の場合】

●ベッドから立ち上がった後、歩行補助手すりまでの動作補助としてお使いください。

⑦ お手入れ方法

●お手入れ前にこの「お手入れ方法」をよくお読みの上、正しくお手入れしてください。

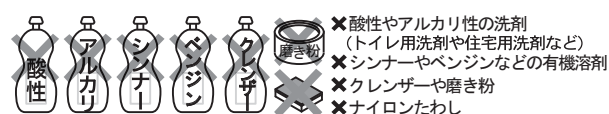
注意（ちゅうい）　ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
禁止	●酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。	変形変色の原因となる。
禁止	●シンナーやベンジン等の有機溶剤は使用しない。	変形変色の原因となる。
禁止	●クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。	傷がつく原因となる。
指示	●定期的にガタツキ・ボルトの緩み・締め忘れ、部品の破損、その他異常がないか点検する。	ケガや器具損傷の原因となる。

■普段のお手入れ方法

1．柔らかい布でから拭きする。
2．汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きとる。
3．洗剤が残らないように水拭きする。
4．最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

お手入れに次のものは使わないでください。

✖酸性やアルカリ性の洗剤（トイレ用洗剤や住宅用洗剤など）
✖シンナーやベンジンなどの有機溶剤
✖クレンザーや磨き粉
✖ナイロンたわし

指示	
	●浸け置き洗いはしない。変質、変形、変色の原因となる。
	●塩素系洗剤での清掃を行う場合、濃度は０．１％(1000mlの水に対し1ml)以下とし、柔らかい布に含ませた後、固く絞り、手早く拭く。 また洗剤が１箇所に溜まらないように注意する。

⑦ お手入れ方法

■消毒方法

●消毒は納入業者、または消毒施設のある業者へ依頼する。
アルコール清拭消毒(エタノール含量７０%～８０%程度)、逆性石鹸清拭消毒などを推奨します。

■点検

●定期的に点検を行い、ガタツキ、ねじの緩み、締め忘れや破損、その他異常がないか確認する。

! ●異常があった場合は、直ちに使用を中止し、納入業者へご相談ください。

■保管方法

●直射日光が当たらない、乾燥した常温の室内で保管する。
高温多湿の場所で保管しますと、変形やジョイント部が外れる原因となります。

⑧ 廃棄方法

●廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

⑨ 保証規定(保証書)

■保証期間：お買い上げ日より１年
この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後１年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。
ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理となります。
（１）本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
（２）火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
（３）お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
（４）使用による外観や本体外部の消耗および傷。
（５）リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
（６）日本国外での使用。
（７）当社もしくは当社の指定した修理事業者など以外による修理など。
（８）本書の提示のない場合。
（９）組立不備による損傷および不具合。
（10）納入業者名、ご購入日を明記されていない場合。

納入業者名：

ご購入日：　　　　年　　　　月　　　　日

⑩ 基本仕様

品名：たよレール用わたレールＪ

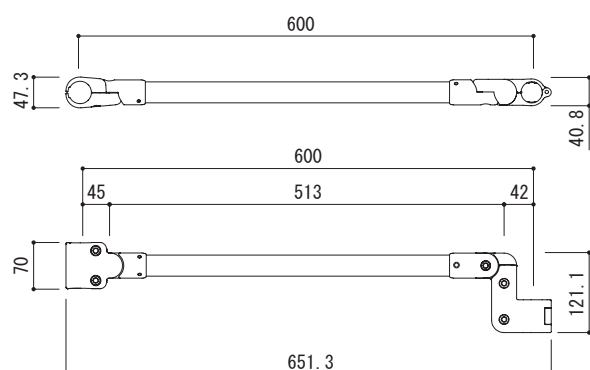
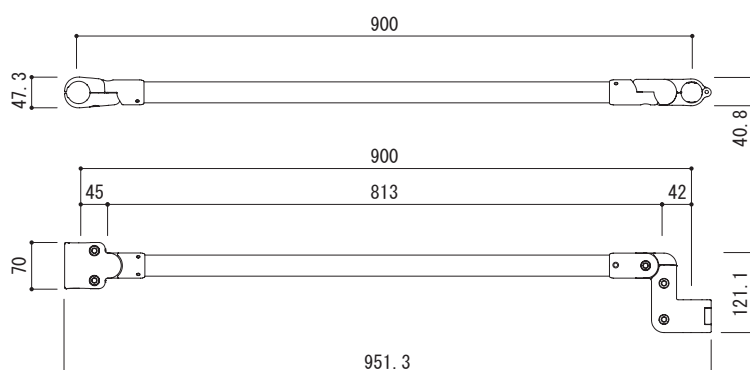
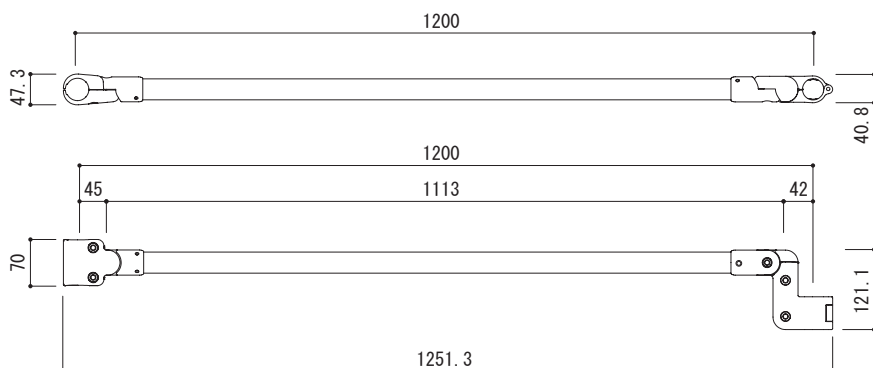
材質：ジョイント/アルミ合金
手すり/（皮膜）半硬質樹脂、（芯材）アルミパイプ

性能：抗菌仕様(手すり部)

重量：ＢＺＷ－６００Ｊ　１．１ｋｇ
ＢＺＷ－９００Ｊ　１．３ｋｇ
ＢＺＷ－１２００Ｊ　２．６ｋｇ

原産国：日本

寸法：図参照

ＢＺＷ－６００Ｊ

ＢＺＷ－９００Ｊ

ＢＺＷ－１２００Ｊ

（単位　ｍｍ）

※商品改良の為、仕様・デザインなど
断りなく変更することがありますのでご了承ください。

マツ六株式会社
〒543-0051　大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL：06-6774-2255　FAX：06-6774-2248
http://www.mazroc.co.jp/

2013年9月6日改定